大規模災害時に高齢者施設で行うことのリスト作成と 対策のための研修プログラムの開発

○大川一郎, 神田尚
(筑波大学)

キーワード: 大規模災害, 対応チェックリスト, 研修プログラム

Development of the checklist and training program for elderly facilities in case of a large-scale disaster.

Ichiro OKAWA, Takashi KANDA (University of Tsukuba)

Key Words: large-scale disaster, checklist, training program

目 的

気仙沼における高齢者施設の施設管理責任者を対象に、「地震前」から「現在」までのそれぞれの時期にインタビューを行い、どのような行動をとったのかということ进行分析した(神田ら,2017;大川ら,2018)。

本研究は、これらの知見に基づいて、大規模災害時に施設管理職者がやることの全体像を示したチェックリストを作成すること、そして、そのチェックリストを用いて、次に大規模災害に見舞われた時に施設としてどのように対応したらいいのかということ事前に考え、対策するための研修プログラムを開発することを目的とする。

方法

東日本大震災の被災地である気仙沼市で、地震当時に高齢者の入所施設の管理職者であった8名から聞き取り調査を実施した(2016-2017)。この分析結果に基づき、チェックリスト、研修プログラムを作成する。

結果と考察

高齢者施設では、『地震前』の段階では、災害時に直接関わる行動として【避難訓練】【緊急時の危機管理】という行動と、【備蓄などの物的準備】【ネットワークづくり】という災害に対しての備えという行動の2つを行っていた。事前にこのような備えをしっかりとっていたのか、そうでなかったのかが、その後の行動に大きく影響していた。研修プログラムの必要性がここにおいても示される。

「地震前」「地震発生後から日没まで」「1日(日没後)から1週間」「1週間から1か月」「1か月から数ヶ月」「数か月～1年」「現在」までのそれぞれの時期に、どのような行動をすればいいのかというキーとなる行動をピックアップし、全体の行動をチェックリスト形式で示すリフレットを作成した。

これらの行動リストを用いて、研修プログラムを開発した。対象は、情報共有のため、数施設を合同で行い、各施設3名程度の管理職レベルを想定する。研修内容としては、下記の7ステップになる。

1) 大規模災害経験者(講師)が災害発生時の施設の様子について、話をする。2) その話を受けて、各施設の管理職者が、自分の施設で同じような災害に襲われた時、管理職としてどのように行動するかということについて、「大規模災害時に高齢者施設で行うことチェックリスト」を参考にして、メンバー間で討議し、回答を作成する。3) 大規模災害経験者(講師)が、災害時、どのような行動をとったのかということについて話をする。4) その話を受けて、実際に震災があってから、自分たちの施設ではどのような行動をし、対応して行くのかということについて「大規模災害時に高齢者施設で行うことチェックリスト」を参考にして、施設ごとにチェックリストを作成する。5) 大規模災害経験者(講師)が、災害直後から、その後、落ち着くまで管理職として何をしたのかということについて説明し、また、災害を経験したあとで、具体的に次に災害にあった時のために、具体的にどのような準備をおこなっているのかということについて話をしてもらう。6) その話を受けて、大規模災害にあったときの事前の準備として、具体的にどのような準備をしていくのかということについて検討をし、「大規模災害時に高齢者施設で行うことチェックリスト」を参考にして、チェックリストを作成する。7) これまでの各施設での検討内容、作成したチェックリストについて、施設ごとに壇上で報告し、各施設が話し合った内容を共有する。

<注>本研究は、(国立研究開発法人) 科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)による研究成果の一部である「災害救援者のピアサポートコミュニティの構築」筑波大学松井プロジェクトの一部として行われた。